

議会運営委員会 視察研修報告

視察日

平成25年1月24日～25日

視察先

・福島県安達郡大玉村議会
・福島県大沼郡会津美里町議会

視察目的

現在議会で、検討・協議を進めている、議会改革及び活性化について、先進議会を研修することにより、今後の議会改革及び活性化の推進に向けた取り組みの参考にする。

視察内容

大玉村とは、平成24年8月に「災害時相互応援協定」を締結し、同年11月5日には、大玉村議会総務文教常任委員会が、視察に本村を訪れました。

大玉村議会は、平成20年9月、村では日本で最初に



大玉村保健センターにて

議会基本条例を制定しており、議会活性化策として、一問一答方式の導入や青年議会・女性議会・子ども議会を毎年開催して、議会への理解と関心を深めてもらうよう努力しています。

研修当日は、ご多忙の中、大玉村の浅和村長も同席され、大玉村の紹介や現在進めている再生可能エネルギー利用促進等についてご説明いただきました。

会津美里町議会は、「開かれた議会、行動する議会、勉強する議会」をスローガンに、平成21年1月より福島大学と連携した「議会活性化のための研修会」を継続的に実施し、議員全員の資質向上を図り、行動する議会として、行政へ政策提言を行っています。また、議会は討論の場であることを確認するため、一つの課題について、最初に議員が意見表明を行い、その後に賛成・反対討論を述べ合うなど、議員間の自由討論を充実させています。スローガンにのっとり、とても前向きな議会活動を行っていました。

両町村の議会活動を研修し、議会が変わるための議会活性化策や議会改革について、検討する課題は多くあります。本村議会でもまずは、取り組めるものからと、一般会議「むらづくり懇談会」を、2月6日に村商工会とまちおこしのブラ

ンド化の推進やPRについて、もし物産館が建設されるとしたらどのような協力ができるかや、後継者不足問題についてなどの意見交換会を開催しました。

人口減少化、少子高齢化など村の課題はとても多い中、議員みずから動き出し、住民のニーズを、村政に反映させる機動的議会にする必要があると考えます。

また、議員みずからが外へ出て住民の声を聴き、政策提言につなげることが、人と自然が輝くまち美浦、活気あふれる美浦を実現させるのだと思いました。



会津美里町での意見交換会